



交通局

交通事業会計要求総額 2,170百万円
(対前年度 △24.0% ※特別損失を含む)

収益的収入		2,044 百万円
収益的支出		1,982 百万円
差 引		62 百万円
単年度資金収支		15 百万円

〈要求の基本的考え方〉

- ◆ 安全な運行の確保と安心・快適なサービスの提供
- ◆ 市民・地域と連携した事業の運営
- ◆ 健全な経営の維持



—主要事業—

要求額

バス運行事業	1,982 百万円
バス車両購入(更新)事業	78 百万円

安全な運行の確保と安心・快適なサービスの提供

バス車両の更新(3台)

安全な運行を確保し、安心・快適なサービスを提供するため、経営状況を見ながら計画的に老朽化したバス車両の更新を行います。

バス待合環境の整備

利用者が安心・快適にバスを待つことができるように、電照式(LED)バス停の設置を行います。

IP無線システムの導入

危機管理体制の強化のため、GPS機能付のIP無線システムを導入します。

※IP無線:携帯電話網のデータ通信機能を使ってデジタルデータや音声を送るサービス

健全な経営の維持

バス路線の見直し

若松北西部地域において、平成26年度に見直しを行った①「岩屋・蛭住～学研都市北口」の利用状況や収支状況を見定め、②「岩屋・脇田～畠田」、③「脇田・脇ノ浦～小石」の路線見直しに向け、関係者との協議を進めていきます。

路線維持に係る費用負担の明確化

通学支援便の運行に係る経費負担など事業のあり方について、引き続き関係部局との協議を進めていきます。

人材の育成(正規職員の採用)

運行管理に関するノウハウを蓄積し、将来の運行部門を担う人材を育成していくため、経営状況を見ながら、計画的に正規運転者等の採用を行います。

市民・地域と連携した事業の運営

利用者ニーズの把握充実

営業所・案内所に設置している「ご意見箱」等により、利用者のご意見・ご要望を常時聴取しながら、「交通局内部CS懇話会」「交通局外部CS懇話会」等を通じ、積極的に事業運営に反映させていきます。

※CS:カスタマー・サティスファクション
=顧客満足

